

「平成 30 年度筑波大学大学院体育系修士研究論文集第 41 号」作成要領

1. 掲載論文

「筑波大学大学院体育系修士研究論文集」（以下、「論文集」と略す）は、体育学専攻論文審査委員会によって「合格」と判定された論文・コーチング特別課題研究を掲載する。なお論文集には、スポーツ健康システム・マネジメント専攻、教育研究科・教科教育専攻・保健体育科コースの修士論文も同載する。

2. 書式およびページ数

「3. 書式詳細」に従うこととし、その枚数は、A4 版 3 枚以上 4 枚以内とする。

原稿の作成にあたっては、添付した抄録見本を参照すること。なお、MS-Word のひな形を体育学専攻 WEB site よりダウンロードできるようにするので、それを用いて作成することを強く勧める。

3. 書式詳細

1) 用紙

A4 版コピー用紙を用い、レーザープリンタで直接印字する。インクジェットプリンタの場合は、にじみのない専用紙に限る。A4 版用紙をセットできるプリンタを手配できない場合は、指導教員または下記の担当教員に相談すること。

2) 文字種とその大きさ

(1) 「和文タイトル」「和文サブタイトル」は『明朝体, 18 ポイント』の活字を用い、できるだけ 1 行に納めるよう工夫し、原稿の中央に配置（センタリング）する。

(2) 「氏名（和文）」は、『ゴシック体, 14 ポイント』を用い、姓と名の間を半角あけ、センタリングする。

(3) 「専攻（和文）」は、『明朝体, 10 ポイント』を用い、センタリングする。

(4) 「指導教員名（和文）」は、『明朝体 10 ポイント』を用いて、「指導教員」と「指導教員氏名」の間に半角をあけ、かつ、姓と名の間を半角スペースあけて記し、その全てをセンタリングする。主指導教員（実質の指導教員）と研究指導担当教員が異なる場合は、「主指導教員氏名 研究指導担当教員氏名」の順に全角スペースをあけて記す。

(5) 「欧文タイトル」「欧文サブタイトル」は、『Times, 10point, Bold』を使用し、センタリングする。最初の一文字のみ大文字、後は固有名詞以外小文字とする。

(6) 「欧文氏名」は、『Times, 10.5point, Bold』を使用して、センタリングする。given name を先に記し、given name の最初の一文字と FAMILY NAME は大文字とする。

(7) 「欧文抄録」は、約 200 語程度までとし、『Times, 10point, Bold』を用い、論文抄録見本に示されたマージンに従って書く。

(8) 「本文」は、『明朝体, 10 ポイント』を用い、論文抄録見本の指示に従って二段組みで記載する。太文字等の修飾文字を用いてはならない。ただし節タイトルは『ゴシック体, 10 ポイント』とし、【 】ではさむ。

(9) 「図表の説明文」は、和文の場合には、『ゴシック体, 9 ポイント』、欧文の場合には、『Arial, 10point』を用いる。図のタイトルは図の下部、表のタイトルは表の上部に記載する。

3) 本文

目的（緒言、はじめに等）、方法（材料と方法等）、結果、考察及び必要に応じて結論の順に記載する。参考文献は巻末に一括にする。参考文献の記載方法については、「体育科学系紀要」に準拠する。

4) 図表

A4 の用紙に直接印字するか、白紙または薄青色の方眼紙に黒インクか墨汁で作成したものを原稿の用紙に貼り付ける。なお感熱記録紙に記録されたものを原図として貼り付ける場合には、アラビア糊の使用を避ける（変色回避のため）。電子画像については、解像度は 300-400dpi 以上で、画像形式は TIFF, GIF, JPEG 形式を用いるとよい。

4. 原稿提出時の要領

- 1) 印刷したオリジナル原稿を A4 版が入る大きさのクリアファイルに入れて受付担当教員のチェックを終了後、原則として オリジナル原稿の電子ファイル（指定された形式のファイル名を付した PDF ファイル）を提出 する。
- 2) ファイル名の付け方は以下の通りとする。
(コース番号)_学籍番号_氏名(ローマ字姓名または英語表記).pdf
例 3_201799999_OhyamaKeigo.pdf
- 3) ファイル名のコース番号は以下のとおりとする。
 - 1: 体育学専攻体育・スポーツ学分野
 - 2: 健康体力学分野
 - 3: コーチング学分野
 - 4: ナショナルリーディングコーチ養成プログラム
 - 5: スポーツ国際開発学共同専攻
 - 6: つくば国際スポーツアカデミー(TIAS)
 - 7: スポーツ健康システム・マネジメント専攻スポーツプロモーションコース
 - 8: スポーツ健康システム・マネジメント専攻ヘルスプロモーションコース
 - 9: 教育研究科教科教育専攻保健体育教育コース

5. 提出期限

平成31年2月7日(木)の16時とする。最終日は混雑が予想され、受付担当教員のミスを誘発するので、期限以前の提出を心がけること。

6. 提出先（受付担当教員）

- ・ 体育スポーツ学分野：大石純子（B 5 1 7 内6 3 5 4）
- ・ 健康体力学分野：渡部厚一（D 6 0 7 内5 9 0 2）
- ・ コーチング学分野・コーチング特別課題研究
： 大山卞圭悟（A 4 0 1 内6 3 2 1）

7. 一般的注意事項

- ・ 提出前に、欧文抄録を含めた全文について指導教員の確認を受けておくこと。
- ・ 書式に関する修正を求められる場合があるので、筆者本人が担当教員に手渡すこと。
- ・ 論文集の配布は学位記授与式当日の予定である。

(体育学専攻研究促進委員会, 平成30年12月)

余白: 25mm

小学校児童における体育科授業中に発生する負傷に関する研究

論文タイトル: 18pt、明朝体、中央

18ptのスペース1行分をあける

名前: 14pt, ゴシック体, 中央, 性と名の間を半角あける。
専攻: 10pt, 明朝体, 中央。
指導教員: 10pt, 明朝体, 中央, 指導教員名との間を半角あける。
**主指導教員(実質の指導教員)と研究指導担当教員が異なる場合、
全角あけて主指導教員, 研究指導担当教員の順に。**

高橋 誠人

体育学専攻
指導教員 本田

10ptのスペース1行分をあける

Study of injuries in physical education class for elementary school children

Makoto TAKAHASHI

英文タイトル: Times New Roman, 10pt, bold, 中央。
英文氏名: Times New Roman, 10.5pt, bold, 中央,
姓は大文字。

10.5ptのスペース1行分をあける

The ultimate aim of this study was to decrease number of injuries for elementary school children. For this purpose, the number of injuries and teachers compared and analyzed in terms of time factors.

英文アブストラクト:
Times New Roman, 10pt, bold, 中央,
左右に10mm ずつインデントする

the research showed that the recognition of teachers was similar to the actual injuries. There were, however, differences in some points. By teachers' recognizing the difference, I consider that the frequency of injury would decrease.

節タイトル: 10pt, ゴシック体,
左揃え, 【 】 付き。

12ptのスペース1行分をあける

【緒言】

本文: 10pt, 明朝体,
2 段組。

日本体育・学校健康センターによると、毎年、約 50 万件前後の負傷が報告されるうち、小学校の授業中(各教科・道徳)に発生する負傷は約 12 万件前後であり、特に、体育科授業中に発生する負傷は頻度が高く、授業中(各教科・道徳)に発生する負傷のうち、約 75%を占めている(図1)。

一方、事故と時間の関係は交通事故や労働時間などでは古くから研究されており、事故発生に時間的要因が大きく関与していることが報告されている^{1), 5), 6), 13)}。バス運転手による日内の事故発生に関しては、18 時前後の事故発生リスクが高く、運転開始後の事故発生に関しては、運転のはじめに事故が多発することが報告されている¹⁾。一般の産業災害については午前 10~11 時と午後 2~3 時にピークを持つ 2 相性の曲線が示される¹⁾ことが知られている。また、狩野¹³⁾は強制作業における一連続作業時間に関する実験結果において、基準値の相対的な低下が、作業開始後 30 分後に発生するという共通の傾向を示している。そして、これらの報告は実際の現場において事故の予防対策に有効利用されているのである。

よって、この研究では事故発生の時間的特徴に関して、教育現場における体育科主任の認識を質問票調査により、また実際の状況を災害報告書より得ることにより、各々の特徴および両者の関係について解析した。

【対象と方法】

1. 質問票調査

1) 対象

茨城県全公立小学校 593 校(養護学校・盲学校・聾学校の小学部は除く)の体育科主任を対象に質問票調査を郵送法にて行った。

2) 調査内容

調査内容は、負傷・疾病の発生率に関する体育科主任の認識を問う設問のほか、学校の時間割に関する設問、及び回答者自身に関する設問で構成されている。

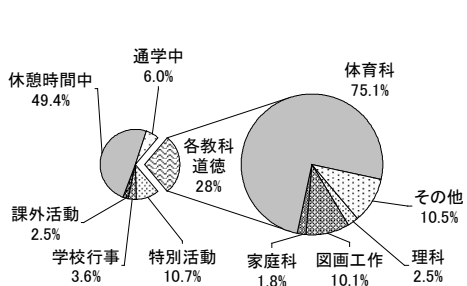


図1 学校管理下の負傷

体育・スポーツの事故に関する研究は、身体的・精神的条件、施設・設備・器具の条件、気候・環境的条件、指導上の条件などの観点から、さまざまな研究が報告されてきた^{2), 4), 7), 9) -12)}。事故災害の発生はさまざまな要因が相互に関連して発生していることが多いため、発生原因、発生メカニズムが十分解明できないことも多く、今日においても、合理的かつ効果的な事故災害の発生防止の対策が確立されているとは言えない。

これまでの研究・調査のうち入手したものを調べた限りでは、事故の発生と体育科授業開始後の時刻経過との関係に関する研究・調査は報告されていなかった。

余白: 25mm